

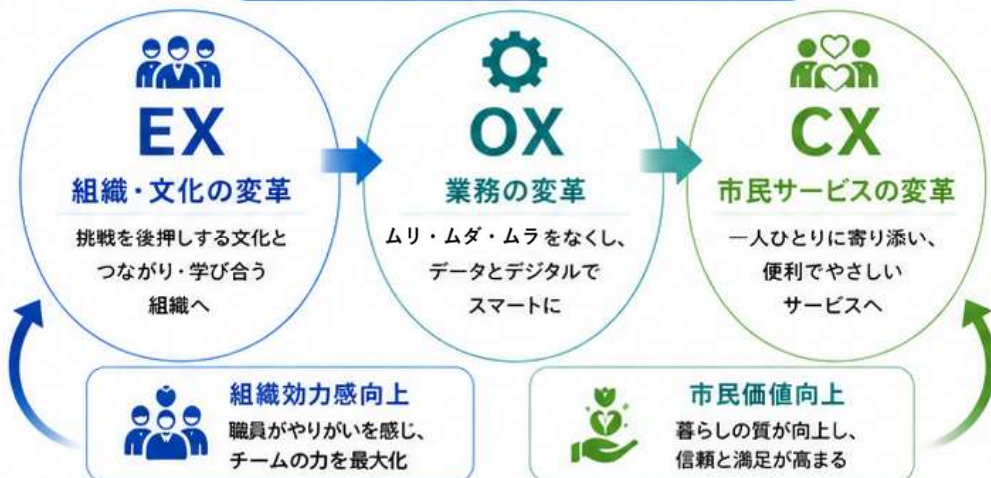
ゼロ・グラビティ・シティ

重力を超えて、もっと自由な明日の角田市へ

現在の重力

-  紙・押印・対面前提
-  縦割り
-  前例踏襲
-  多忙で
試行錯誤の時間がない
-  業務を減らせない構造
-  情報が分散
-  時間や場所の制約

DXで実現する3つの変革領域



目指す未来

- 職員**
- 挑戦が評価される
 - AIやデジタルを使いこなせる
 - 定型業務から解放され
市民対応や企画に集中
- 組織**
- 横断連携が進む
 - 迅速な意思決定
 - データに基づく運営
 - 柔軟な働き方を実現
- 市民**
- 書かない・待たない・行かない手続き
 - 必要な情報が届く
 - 誰一人取り残さない支援
 - 便利で身近な行政

DX推進ロードマップ

- 短期 (1~3年)**
ルールの書き換え
- デジタル原則の徹底(書かない・待たない・行かない)
 - 業務の権限しとムリ・ムダ・ムラの見直し
 - 押印・紙・対面の見直しとオンライン化の拡大
 - データ活用の基盤整備と人材育成
 - 挑戦を促す組織文化づくり

意識改革と小さな成功の積み重ねで、変革の土台をつくる

- 中期 (4~6年)**
制度・インフラ刷新
- 業務・システムの標準化・共通化を推進
 - データ連携基盤の構築とオープンデータ推進
 - AI・RPA等の活用拡大で生産性を向上
 - 組織横断のガバナンスと評価の高度化
 - 柔軟な働き方と人材の最適配置を実現

仕組みと基盤を進化させ、全庁的な変革を加速する

- 長期 (7~10年)**
未来技術実装・価値創造の定着
- AI・データ活用で新たな価値・サービスを創出
 - 先端技術 (IoT・ロボティクス等) の実装拡大
 - 地域や企業との共創でイノベーションを推進
 - 持続可能でレジリエントな都市基盤を実現
 - 変革を文化として定着させ、次の価値へ

未来技術と共創で、持続的に価値を生み出すすまじへ



ひと・デジタル・地域がつながり、
誰もが輝く「ゼロ・グラビティ・シティ角田市」へ